

ディスクについて

■ 本機で利用できるディスク

① 音楽用 CD

本機で利用できる CD は、右のマークが付いているものです。



② CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。



■ ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクスロットにはゆっくりと挿入してください。ディスクが引き込まれはじめたら手を離してください。



- 再生できないディスクを入れた場合には、“DISC ERR”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“DISC ERR”を表示します。

ご注意

- ディスクスロットに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。



■ ディスクを入れる際のご注意

- ・本機は 8cm ディスクに対応していません。ディスクスロットに 8cm ディスクを挿入しないでください。
- ・8cm ディスクアダプターは使用できません。
- ・ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ・ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ・セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

■ 取り扱いについてのご注意

- ・指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ・ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- ・曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ・中心の穴を大きくしないでください。
- ・レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ・屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴が付くことがあります。ヘッドライヤーなどで乾かささないでください。

■ 保存についてのご注意

- ・ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ・ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- ・次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

■ ディスクのお手入れのしかた

- ・ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- ・拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。



内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- ・レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。



用語の解説

■ 音声

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ビットレート(Bit rate)

記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかをあらわします。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。



■ その他

ファイナライズ

録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ペアリング

ペアリング(登録)とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

登録商標について



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



主な仕様

■ オーディオ部

• CD プレーヤー部

再生周波数特性:

2Hz~20kHz

ワウ・フラッター:

測定限界(±0.001% W.peak)以下

サンプリング周波数:

44.1kHz

• オーディオ部

定格出力:

2 チャンネル

15W + 15W(負荷 6Ω、1kHz、T.H.D. 10%、JEITA)

■ チューナー部

受信周波数帯域:

[FM]

76.0MHz~95.0MHz

[AM]

522kHz~1629kHz

実用感度:

2.5μV/75Ω

20μV

FM ステレオ分離度:

30dB(1kHz)

FM S/N 比:

モノラル:65dB

ステレオ:60dB

FM 全高調波歪率(1kHz):

モノラル:0.2%

ステレオ:0.5%



■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 4.0
送信出力:	Power Class 2
最大通信範囲:	見通し距離 約 10m *
周波数帯域:	2.4GHz 帯域
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.2 AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) 1.4
対応コーデック:	SBC, AAC
伝送範囲(A2DP):	20Hz~20,000Hz

* 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。



■ 時計/アラーム/スリープ

時計方式:	クリスタル発振子(月差 1 ~ 2 分)
アラーム:	ワンスアラーム/エブリデイアラーム:各 1 系統
スリープ:	スリープタイマー:最大 90 分

■ 総合

許容動作温度:	+5℃~+35℃
電源:	AC100V 50/60Hz
消費電力:	30W
クロックモード時の消費電力:	7W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W

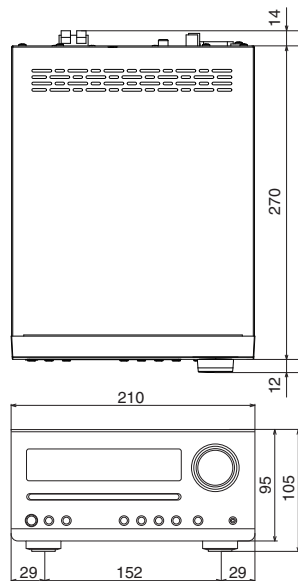
- JEITA: (社)電子情報技術産業協会(略称:JEITA)が制定した規格です。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



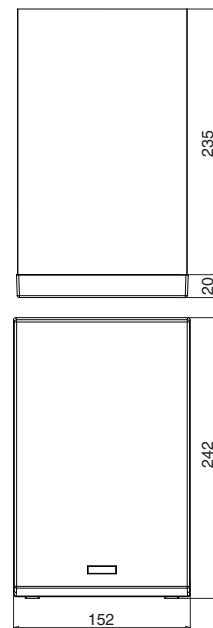
■ 寸法

単位:mm

【本体】



【スピーカー】



■ 質量

本体: 2.8kg

スピーカー(1本): 3.4kg

索引

B

Bluetooth 機器 34

C

CD 27

F

FM/AM アンテナ 21, 31

あ

アラーム 47

お

オートスタンバイ 49

お買い上げ時の設定に戻す 60

音質を調節する 42

音量 26

こ

故障かな？と思ったら 52

こんなときの解決方法 51

す

スピーカー 18

スリープタイマー 48

て

ディスプレイの明るさ 43

データ CD 29

ふ

フロントパネル 9

み

ミュートイング 26

り

リアパネル 12

リモコン 14



当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 0570 (666) 112

FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 9:30～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  050 (3388) 6801
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
<http://denon.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 811

- 受付時間 9:30～12:00、13:00～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
 - 上記番号がご利用いただけない場合  0466 (86) 9520
 - 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://denon.jp/jp/html/service.html>
 - 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市速藤210-16
FAX : 0466 (86) 9522
- * ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

3520 10645 00AD

Copyright ©2018 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.